

海外派遣留学生

留学報告書

韓国・漢陽大学

学部学科・研究科専攻	国際学部国際学科		留学時学年	2年
留 学 先	国	韓国	大学/機関	漢陽大学
期 間	2025年8月5日 ～ 2025年8月23日			
	短期		計1ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

・科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:50 14:00-17:00		入国	○	○	○	Free	Free
9:00-12:50 14:00-17:00	○	○	○	○	祝日	Free	Free
9:00-12:50 14:00-17:00	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

- ・ クラス人数：12人
- ・ 国籍割合：日本人のみ
- ・ 担当の先生：3人
- ・ 授業方法：
習った文法を使ったプレゼンテーション、ペアでの会話練習、文法・単語学習、発音練習 など
- ・ 使用教材：漢陽大学独自のレベル別教材が配布された

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

漢陽大学での課外活動では、学生メンターとともにカフェで会話を楽しんだり、チキンやサムギョブサルを食べに行ったりしました。また、韓国の有名な劇「NANTA」を観劇する機会もありました。Field Trip ではバスで韓国の田舎を訪れ、バナナ農園を見学したり、餅やコチュジャン作りを体験しました。さらに漢江では遊覧船に乗ってソウルの夜景を眺め、川辺でラーメンを食べるという思い出深い時間も過ごしました。週末は観光都市に出かけ、買い物やカフェ巡り、食事を楽しみながら充実した時間を過ごしました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

学食、構内にあるカフェ、寮の地下にある食事のできるスペース

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 2 人で使用

様子：宿舎での生活は、1 部屋 2 人での使用でしたが、部屋の中は壁とドアで仕切られており、プライベート空間がしっかり確保されていました。施設自体が新しく、とても清潔で快適でした。部屋にはベッド、勉強机、クローゼットや棚が備え付けられており、生活に必要な設備は十分に整っていました。お風呂場とトイレ、洗面台は兼用でしたが、不便さはあまり感じませんでした。門限もなく自由に出入りでき、さらに部屋に入るまでにオートロックを 3 回通る必要があり、安全面においても安心して生活できました。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- **楽しかったこと：**留学中に楽しかったことは、1 か月間韓国で生活しながらリアルな韓国語を聞き、実際に会話する中で「聞く力」と「話す力」が大きく伸びたことです。また漢陽大学の学生と一緒に、現地の大学生が普段行く場所や活動を体験でき、韓国の大学生になったような感覚を味わえたことは大変貴重な思い出になりました。寮生活だったので毎日の学食や外食、宅配注文を通して多様な韓国の食事を楽しめたことも思い出の一つです。さらに大学の駅があり地下鉄での移動がしやすく都市部に位置していたので、どこへ行くにもアクセスがしやすく便利で毎日充実した時間を過ごすことができました。
- **苦労したこと：**留学中に苦労したことは、発音の授業でした。独学ではなかなか身につけにくい部分であり、特に韓国語特有の微妙な音の違いを聞き分けたり正しく発音したりするのが難しく感じました。ただ、現地で先生から直接指導を受けることで、自分が今まで間違えて発音していた部分に気づくことができ、大きな学びにつながりました。最初は戸惑いもありましたが、正しい発音を身につける良い機会となりました。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

文法の授業では知識を学ぶだけでなく、実際の場面を想定して発表や会話を行うことで、受け身の学習にとどまらず積極的にアウトプットする機会がありました。その結果、一時的な理解ではなく記憶に定着させることができ、日常生活の中でも習った文法を使いこなし、現地の人々との交流を深められるレベルに成長しました。また、授業はすべて韓国語で行われ、先生方は、ジェスチャーやわかりやすい表現を用いて説明してくれたため、次第に聞き取り能力も向上し、韓国語での説明を自然に理解できるようになりました。

2) 専門知識の向上：

専門知識の向上という点では、専門的な分野を学ぶクラスではなかったため直接的な知識を得ることはありませんでした。しかし、授業や日常の交流を通じて、韓国人特有の言い回しや考え方、普遍的な価値観や一般常識について学ぶことができました。教科書では得られないリアルな韓国の文化や生活感を知ることができたことは、大きな収穫となりました。

3) 自己成長など

自己成長としては、人見知りの性格もあり他言語で話すことに最初は大きな勇気が必要でしたが、言語や国籍の違いにとらわれず「人と人」として向き合うことが大切だと実感しました。完璧な表現でなくても思いを伝えれば意外と通じ合えることを何度も経験し、その積み重ねによって自信が生まれました。この経験は語学力だけでなく、自分自身の姿勢や人との向き合い方においても成長につながったと感じています。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

韓国語が特別得意でなくても心配はいりません。私自身、大学で履修している程度の力しかなく不安でしたが、レベル分けがあり自分の実力にあったカリキュラムで学習できました。先生方はとても親切で、大学側のサポートも手厚いため安心して参加できます。現地の先生から直接学ぶことで効率的に力を伸ばすことができ、自分の成長を実感できました。短期の留学はあっという間ですがその分毎日が濃く充実しており本当に行ってよかったと心から思える経験になりました。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

内訳			金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	150000
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費など)	
4	教材費		
5	保険代		
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		51600
7	個人的な買い物		95500
8	その他()		
9	留学に関する費用(1 から 8 の合計)		
10	受 給 し た 奨 学 金 (奨 学 金 名 :)		
11	留学に関する費用総額(上記 9 から 10 を引いた額)		297100

